

科目 No.	23
授業科目名 (英語表記)	インフラと近現代社会－鉄道からみた日本の近現代－ Infrastructures and the Contemporary Society; Focusing on the Development and Change of Japanese Railways
授業の実施場所	宇都宮大学 峰キャンパス
使用言語	日本語
単位数	1
開講日時	9月3日(月)～4日(火) (4コマ×2日) 8:50～16:00 (各日とも)
授業形態	講義
受講者数	最少10人～最大30人
担当教員	国際医療福祉大学総合教育センター准教授 福井讓
開設大学	国際医療福祉大学
授業の内容	「近代」を迎え人間社会は大きな変革を迎える。その中でも新たなインフラストラクチャー（以下インフラと表記）の登場と発展は、今日の私たちの世界を支える枠組みを作り出した。ということは、このインフラの発展や変化を捉えることで、私たちの社会の歩みや、その時々において直面していた課題、さらには今日の社会が抱える問題を改めて考えることができるのではないだろうか。そこで本講義では上記の問題意識を基に、特に鉄道に着目したい。技術やシステム、その社会的機能など諸々の点から見ても、鉄道そのものが近代を象徴する存在だからである。その時代毎の鉄道に担わされた使命や役割、課題を紐解くことで、実はそれらが形を変え、今日の私たちが直面している問題にも通じていることに気づかされるであろう。なお本講義では主として日本を対象とするものの、必要に応じてイギリスやアメリカ、戦前期の旧植民地地域についても言及する。
教科書・参考書・ 教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な資料等は、講義時に配布する。 ・参考書として、以下の2点を紹介しておきたい。 老川慶喜『日本鉄道史 幕末・明治編』中公新書、2014年。 同 『日本鉄道史 大正・昭和戦前編』中公新書、2016年。
成績評価	出席状況、課題レポート、対話の状況等による評価。
学修上の助言	経済史・社会史の観点から鉄道（インフラ）に関心を持って頂きたい。